



県立中央病院の医師（右端）からドクターヘリの説明を受けるモンゴル国立医科大の医師＝徳島市

モンゴルの医師
県中央病院見学
救急医療体制など学ぶ
モンゴル国立医科大
の医師ら9人が病院運
営について研修を受け
るため来県し、24日、
救急医療グループの医
師2人が県立中央病院
（徳島市）で救急医療

体制などを学んだ。

2人はドクターヘリ
や救命救急センターを
視察。中央病院の医師
から、ドクターヘリを
使えば県内各地に15〜
20分で到着できること
などを聞いた。センタ
ーでは搬送した患者を
コンピューター断層撮
影装置（CT）で診断
し、迅速な治療につな
げるハイブリッドER
の説明を受けた。同医
科大医学部救急学部講
師のナランプレフ・メ
ンドサイハンさんは
「優れた技術と体制を
母国での診療に生かし
たい」と話した。

研修は独立行政法人
国際協力機構（JICA
A）の事業の一環で、
徳島大学病院（同市）
が23〜27日の日程で医
師らを受け入れた。同
病院では昨年6月から
研修を実施しており、
今回で5回目。

（新居和人）